付録 医学教育モデル・コア・カリキュラム対応表

	平成28年度		本書の該当項
項目	学修目	目標 (太字 は28年度初出)	で日かいコグ
C 医学一般 C-1 生命現象の科学 C-1-1) 生命の最小単位ー細胞 ねらい:細胞の構造とその様々な働きとともに、遺伝子からタンパクへの流れに基く生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を理解する。	C-1-1) - (2) ゲノム・染色体・遺伝子	① Mendel の法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。	第1章-4 第2章-2- 第2章-3 第2章-4 第2章-6
		②遺伝型と表現型の関係を説明できる。	第1章-6-
		③染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及 び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及 び減数分裂における染色体の挙動を説明で きる。	第1章-11-(第1章-22-(
		④デオキシリボ核酸 (deoxyribonucleic acid < DNA >) の複製と修復を概説できる。	第1章-3-
		⑤デオキシリボ核酸 <dna>からリボ核酸 (ribonucleic acid < RNA >) への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節 (セントラルドグマ) を説明できる。</dna>	第1章-3-(第1章-3-(第1章-3-(
		⑥染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム 解析技術を概説できる。	第3章- 1 - 第3章- 2 -
C-4 病因と病態 C-4-1) 遺伝的多様性と疾患 ねらい:ゲノム・染色体・遺伝子の多様 性と疾患との関連を理解する。	①ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。		第1章-6-
	②単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。		第2章-2-
	③染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。		第2章-5
	④ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。		第2章-4
	⑤エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。		第2章-3
	⑥多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。		第2章-6
	⑦薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。		第4章-4
C-4-6) 腫瘍	②癌の原因や遺伝子変化を説明できる。		第2章-9-
E 全身に及ぶ生理的変化、病態、 診断、治療 E-1 遺伝医療・ゲノム医療 E-1-1) 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性 ねらい:遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。	①集団遺伝学の基礎として Hardy-Weinberg の法則を概説できる。		第1章-7
	②家系図を作成、評価 (Bayesの定理、リスク評価) できる。		第2章- 1 第5章- 1
	③生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目 的と意義を概説できる。		第3章-4
	④遺伝情報の特性 (不変性、予見性、共有性) を説明できる。		第6章-1-
	⑤遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。		第6章-2-
	⑥遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮について説明できる。		第6章-11-
	⑦遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。		第6章-11-
	⑧遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。		第4章-4
F-2-3) 臨床検査	確率)・検査後確率(事	特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率 (事前 後確率)、尤度比、receiver operating (OC >曲線) と判定基準 (基準値・基準範囲、 値)を説明できる。	第5章- <mark>3</mark> -
		目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	第3章

[※]平成28年度に改訂された上記「医学教育モデル・コア・カリキュラム」は「医学部卒前遺伝医学教育モデルカリキュラム」(第6章-■) を基に検討されています。